

・・2025年最終感謝礼拝メッセージ・・

《テーマ》 「主の恵みとあわれみと力に感謝し・賛美しましょう。」

・・マリアの賛歌 *Magnificat* マニフィカトから学ぶ・・

《みことば》 ルカ 1:46~55

46 マリアは言った。「私のたましいは主をあがめ、

47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

48 この卑しいはしために目を留めてくださったからです。

ご覧ください。今から後、どの時代の人々も私を幸いな者と呼ぶでしょう。

49 力ある方が、私に大きなことをしてくださったからです。その御名は聖なるもの、

50 主のあわれみは、代々にわたって主を恐れる者に及びます。

51 主はその御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散らされました。

52 権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。

53 飢えた者を良いもので満ち足らせ、富む者を何も持たせずに追い返されました。

54 主はあわれみを忘れずに、そのしもバイスラエルを助けてくださいました。

55 私たちの父祖たちに語られたとおり、アブラハムとその子孫に対するあわれみをいつまでも忘れずに。」

《メッセージ》

1、不安や恐れを完全に神にお委ねし、すべてのことに感謝し、神を賛美しましょう。

46~49節

a、マリアは、み使いの驚くべきメッセージの全てを受け入れました。

マリアは言った。「ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になり  
ますように。」すると、御使いは彼女から去って行った。」

ルカ 1:38

①ヨセフと婚約中のマリアが聖霊によって身ごもり、男の子を産む救い主の母となるという美しい物語です。

②しかし、実際のマリアは、『婚約中の妊娠』という命がけの困難に直面していたのです。

★ユダヤの律法では石打ち・誤解・偏見・迫害・生まれてくる子も私生児として主の集會に集えない等・

③ヨセフも、そのことをその事を懸念し、ひそかに離縁しようとしていました。

「夫のヨセフは正しい人で、マリアをさらし者にしなかつたので、ひそかに離縁しようと思った。」マタイ 1:19

④彼女は、そのような中で、人間的に理解・納得できなくても、神は良き業をなされると信じていたのです。

b、それゆえ、マリアは主のなさるすべてのことについて感謝し・賛美しました。

①マリアの心は、現実を見る時、不安と恐れがあつたに違いありません。しかし、主を賛美したのです。

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい」

伝道者の書 3:11

1 わがたましいよ主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ聖なる御名をほめたたえよ。

2 わがたましいよ主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。 詩編 103:1~2

②マリアは、日常的に神への感謝と賛美を捧げていたので、困難の中でも賛美できたのです。

☆ *Magnificat* マニフィカト = 「大きくする・賛美する」という意味。

「賛美する時、すなわち神を大きくする時、不安や恐れ心配は、小さくなるのです。」

ダビデ王は、「心に恐れを覚える日私はあなたに信頼します。」詩編 56:3 と言いました。

c、この一年の良き神の業に感謝し、賛美しましょう。病や困難も含めてすべてのことについて、力ある神の

栄光の業がなされていることに感謝し、主を賛美しましょう。



## 2、神様が、愛とあわれみに満ちる方であることを信じ、神を賛美しましょう。

50～53 節

a、主のあわれみは、代々にわたって、へりくだる者・主を恐れる者に及びます。

①神は、低い者を高く引き上げ、飢えた者を良い物で満ち足らせるお方です。

②マリヤは、神は、小さい者にも目を留めてくださる愛のお方、いつまでもあわれんでくださる方良き物で満たすことのできる方であることを感謝しています。

b、反対に、主は神に対して傲慢な者・おごり高ぶる者・利己的な利益追求者を退けるお方です。

(例) イスラエルの歴史を觀れば一目瞭然です。人間の力をはるかに勝る、真の神の力の絶対性です。

☆主の前にへりくだったダビデ王やヨシャパテ王と、高ぶったサウル王やソロモン王やアハズ王を比較しましょう。

c、あなたは主の目に留まっていることを感謝し、主を賛美しましょう。

「主はすべてのものにいつくしみ深くそのあわれみは造られたすべてのものの上にあります。」詩編 145:9

①マリヤが神に愛され・あわれみを受けたように、あなたへの神様のあわれみは尽きることが無いのです。

②あなたがどんなに弱く・小さくとも神様は目に留めてくださり愛して下さることを感謝し賛美しましょう。

## 3、神様が、ご自身の約束を忠実に成就する力ある方であることを賛美しましょう。 54～55 節

a、神は、かつてアブラハムに「あなたの子孫」により、全世界に祝福がもたらされるとの契約を結びました。

15 主の使いは再び天からアブラハムを呼んで、

(おおよそ BC 2,000 年頃)

16 こう言われた。「わたしは自分にかけて誓う—主のことば—。

あなたがこれを行い、自分の子、自分のひとり子を惜しまなかったので、

17 確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、

海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。

18 あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。

あなたが、わたしの声に聞き従ったからである。

創世記 22:15～18



①使徒パウロによれば、「あなたの子孫」とは、キリストのことを指していました。

約束は、アブラハムとその子孫に告げられました。神は、「子孫たちに」と言って多数を指すことなく、一人を指して「あなたの子孫に」と言っておられます。それはキリストのことです。ガラテヤ 3:16

②マタイの福音書には「アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図」マタイ 1:1 とあります。

b、マリヤは、聖霊によりみごもったイエスこそ、かつて神とアブラハムの契約を実現する、全世界の救い主であるという理解・信仰の中、アブラハムとの契約を忠実に実現された主を賛美しています。

①親類のエリサベツは、「主によって語られたことは必ず実現すると信じた人は、幸いです。」ルカ 1:45 と、マリヤの信仰を称賛しました。

②「主はあわれみを忘れずに」(54 節)「主はそのあわれみをいつまでも忘れない」【新改訳 3 版】とは、神のご自身の契約に対する忠実さの表現です。

③マリヤは、神がどのような時間の経緯や、どんな困難な状況であっても、その契約・約束を忘れずに覚えておられ、必ずそれを成し遂げる偉大な力あるお方であることを信じ感謝し、主を賛美しました。

c、時間や空間を超え、「そのあわれみをいつまでも忘れない」主の忠実さと、人の権威や能力をはるかに凌駕する驚くべき力により、あなたへの契約・約束を守られ祝福を与える主を賛美しましょう。